

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電子回路設計						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年次前期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/選択科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子回路の産業界における位置づけを説明できる。(B3,C2) ・演算増幅器のカタログの意味が分かる。(B3) ・演算増幅器使用時の留意点が分かる。(B3) ・電子回路の基本である比例・積分・微分回路の設計ができる。(B3) ・演算増幅器を用いたフィルタ回路の設計ができる。(B3) 						
日程と内容	04/08 導入授業(講義内容と進め方・評価法) 04/15 演算増幅器とカタログの詳細と使用時の留意点 04/22 演算増幅器の設計法(振幅電圧、オフセット) 04/25 演算増幅器の設計法(周波数特性、スルーレート) 05/13 比例増幅の基本(和・差)の設計 05/20 差動増幅と同相除去比・(演習1) 05/27 演算増幅器による計装アンプ回路の設計 06/10 駆動電源と制御回路 06/13 演算増幅器を用いた可変電圧電源回路の設計 06/17 演算増幅器を用いた定電流源回路の設計・(演習2) 06/24 各種フィルタ回路(受動型フィルタ、能動型フィルタ) 07/01 演算増幅器によるフィルタ回路の設計(1) 07/08 演算増幅器によるフィルタ回路の設計(2) 07/15 総合演習(1) 07/22 総合演習(2)・(演習3) 07/29 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	30%		100%			
授業到達目標の達成度	授業達成目標のいずれの項目も概ね達成している。						
反省点	前年度の反省より、オペアンプにおける位相補償の講義を縮小して、実用的な電源回路や制御回路の設計内容について、講義したが、学生の理解度に対するフォローが不十分だったかも知れない。また、電子回路Ⅱの理解が不十分な学生がいるので、基礎的な回路方程式や回路定数の設定などのフォローが必要だと思われる。						
来年度の計画	授業内容に関しては現状の削減予定はないが、さらに講義内容を精査して理解度が深まるようにする。講義全体の流れ・目標をより明確化し、わかりやすい授業となるよう努力する。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.2と前年度より0.2ポイント減少した。学生の理解度に関連するアンケートの評価項目から、まだまだ授業内容の理解に苦勞している学生が多々いる状況。授業内容に学生の興味を引きだし、学生の理解力の助けになるような工夫が必要と感じている。						
履修登録者数	52名	定期試験 受験者数	50名	合格者数	44名	合格率	88%